

T-736 取扱説明書

T736-z-2208

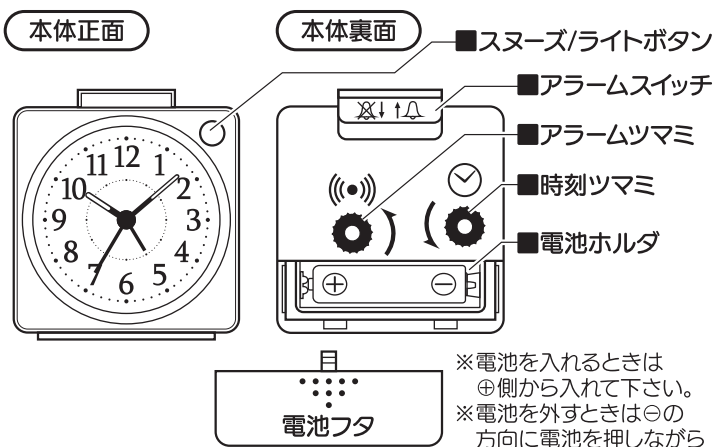
ご購入ありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいませようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

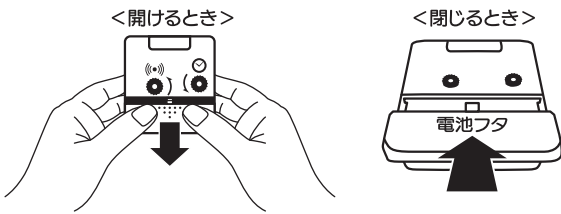
製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと (外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 単3形マンガン乾電池 (R6 1.5V) 1個
- 電池寿命: 約 10 ヶ月 (単3形マンガン乾電池 1個を使用し、1日にアラームを 30 秒、ライトを 1回使用した場合)
- アラーム: 電子音
- アラーム精度: ±5分 (設定した時刻に対して)
- スヌーズ機能: スヌーズ間隔約 4分
- ライト機能: 左上に一箇所

各部の名称



※電池フタを開けるときは、電池フタの「⋮」を押しながら矢印 ↓ の方向に、スライドさせて下さい。
電池フタを閉じるときは ↑ の方向に奥までスライドさせて下さい。

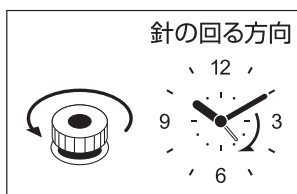


ご使用方法

- ①アラームスイッチをOFFにする。
 - ②電池フタを開けて単3形乾電池1個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じる。
- ※アラームスイッチをONのまま電池を入れると、誤動作・故障の原因になります。

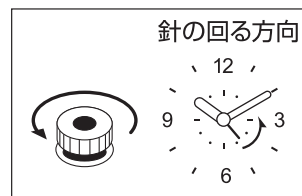
現在時刻の合わせ方

- 時刻を合わせる
時刻ツマミを必ず左回りにまわす。



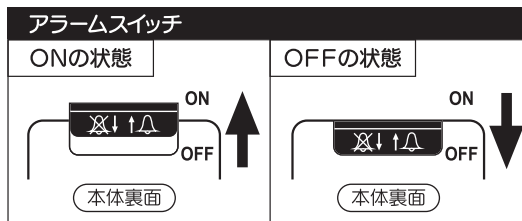
アラーム時刻の合わせ方

- アラーム時刻を設定する
アラームツマミを必ず左回りにまわす。



アラーム(目覚まし)機能について

- アラームを鳴らす
アラーム時刻を設定した後、アラームスイッチをONにすると、設定した時刻にアラームが鳴る。
※アラームは、鳴り始めから約20~40分後に自動的に止まる。
その場合約12時間後に再びアラームが鳴る。
- アラームを止める
アラームスイッチをOFFにするとアラームが鳴り止まり、アラーム機能が停止する。



止めてもまた鳴るスヌーズ機能とライト機能

- アラームが鳴っている間にスヌーズ/ライトボタンを押すとアラームが一瞬鳴り止まり、約4分後に再び鳴り出す。
約20~40分間はこの動作を繰り返すことができます。
- アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にする。
- スヌーズ/ライトボタンを押すとライトが点灯する。
※ボタンから手を離すとライトは消灯します。

電池の交換について

- 電池容量が少なくなると、[アラームが鳴らない][スヌーズが機能しない][ライトが点かない][時計が遅れる]といった症状がおき、やがて止まります。このような場合は速やかに新しい乾電池に交換して下さい。
※買い置きの電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなることがあります。
※時計が動いていても、製品仕様欄に記載の電池寿命を目安に、定期的に電池を交換して下さい。

故障かな?と思ったときには...

- ※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考に確かめ下さい。

時計が動かない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	電池の⊕⊖の向きを確かめて、新しい電池に交換して下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて電池を入れ直して下さい。

時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。

ライトが点かない、または暗い

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池容量が無い	

アラームが鳴らない、または小さい / スヌーズが機能しない

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池容量が無い	